

## 事業に携わるスタッフの皆様



「よらんね」とは方言で「お寄りください」という意味です。皆さん、お気軽にお立ち寄りください。

松本 直治さん



「鹿島の良さ、有明海産の海産物などを紹介します。」

片瀬 正芳さん



「住民ニーズ、地域課題に応え、まちづくりに取り組みます。」

山口 健二さん



「まちが元気になれるように応援します。人と人の絆を大切にふれあいの場を築いていけるように頑張ります。」

井上 法子さん



酒や味噌づくりが盛んに行われている鹿島市の中心市街地では「発酵文化の香る街」として、まちづくりを進めています。

中心商店街では、各店舗が「のれん」を掲げ「発酵文化の香る街」をPRしています。



以前、中心商店街は非常に賑わいのある街でした。イベントの時など、前に進めないほど人が多かったことを記憶しています。これからは新しい形で活気のある中心商店街をめざして、新たに雇用された方々と一緒にまちづくりに取り組んでいきます。

鹿島市中心商店街連合会  
会長 中川 龍生

# 就職困難者の相談および総合就職支援事業 【沖縄県】

## 事例紹介

### ふるさと雇用再生 特別基金事業 【介護・福祉分野】

沖縄県労福協が運営する当センターの特徴は、単なる就職支援だけではなく、子育てや介護があってもなかなか就職できない、就職しても継続できないといった悩みを抱えているみなさんの支援に重点を置いていることです。

今後、少子高齢化はますます進行すると予想されます。そうしたなか、こうした社会的意義のある事業を軌道に乗せ、継続的な雇用創出につなげていくことが私たちの役割だと考えております。



(財)沖縄県労福協  
就職支援センター事務局長  
安里 優 さん

#### 事業概要

子育て支援相談、介護支援相談、就職支援相談に関する専門員等を雇用・配置し、子育てや介護などを抱えてなかなか就職できない、就職しても継続が難しい人たちの支援を行う。

#### 委託先

財団法人 沖縄県労福協  
(所在地: 沖縄県那覇市)  
従業員数25人

#### 新たな 雇用創出数

16人

#### 事業費

約5,564万円(平成21年度)

#### 事業の開始

平成21年6月～



#### 地域雇用失業情勢

\* 事業開始時点の有効求人倍率  
0.28倍  
(ただし、沖縄県全体の数値)

#### 業務内容

- ①子育て支援: 子育てが大変で、就職活動や就職継続に困っている人たちに対して、各地域に密着した子育て支援NPOと連携して、子育て支援を行う。
- ②介護支援: 介護が大変で、就職活動や就職継続に困っている人たちに対して、各地域に密着した介護支援NPOと連携して、介護支援を行う。
- ③就職支援: 就職基礎力アップ講座とそれに続く3か月にわたる就職活動バックアップや、インターンシップ、合同企業説明会の実施等により、就職活動を支援する。



## スタッフのみなさん

子育て世帯、介護世帯が抱える悩みや問題は様々。そうした方々の多種多様な生活の悩みや相談にこたえられるよう、社会福祉士などの有資格者をはじめ、個性豊かなスタッフが揃っている。



子育て支援アドバイザー  
宮城絵里奈さん

若輩ですが、子育ての悩みや不安を抱えているみなさんのお話の聞き役としてがんばります。



介護支援コーディネーター  
平良博子さん

『生活のこまった!?』を解決できるよう頑張ります!!



相談員(那覇南部/中部)  
崎原宏子さん

自分のこれまでの経験を生かし、体力とフットワーク、明るい笑顔でがんばります。

## 利用者・関係者からの声

利用者である子育て世帯や介護世帯の人たちだけでなく、雇用する側の企業や事業の連携先である子育て支援NPO、介護支援NPOなどからも期待の声が寄せられている。

子どもがいて、就職活動が思うようにいっていなかったの、こうした支援があると助かります。  
(子育て世帯)

介護があって仕事が続けられないかと思っていたけど、こうした支援があれば助かります。  
(介護世帯)

子育てや介護を支援することで、就職できる人たちが多くいることは経験上分かっていたが、本格的な就職支援まではなかなかできなかったの、この事業に期待しています。  
(子育て・介護支援NPO関係者)

子育てや介護を理由に退職する人も結構いるので、こうした事業があるなら、積極的に活用したい。  
(県内大手スーパー関係者)

## 今後の課題と展望

当面は、周知徹底と利用者増を図ることが課題。並行して、各地域のNPOや行政、企業との連携強化・ネットワーク構築を図り、最終的には、地域のワンストップサービスセンターを目指す。



総合就職支援コーディネーター 濱里正史さん

この事業の鍵はネットワークづくりだと考えています。当面は、各地域に密着した子育て支援NPO、介護支援NPO、生活支援NPOとの連携強化が最重要課題ですが、各市町村の担当課や多くの企業の人事担当などともネットワークを築き、幅広くきめ細かい支援ができるようにしたいと思います。最終的には、介護関連事業を直接手がけることも含め、事業を軌道に乗せ、雇用の継続を目指します。



\* 那覇・南部センターの開所式の様子(7月10日)